

| | |
|--|--|
| 平成 28 年度 第 1 回 よこはま多世代・地域交流型住宅整備・運営事業者選定等委員会 会議録 | |
| 日 時 | 平成 28 年 6 月 21 日 (火) 10 時 00 分～12 時 00 分 |
| 開 催 場 所 | 松村ビル別館 501 会議室 |
| 出 席 者 | 青木委員、越智委員、松岡委員、村井委員 |
| 欠 席 者 | 矢田委員 |
| 開 催 形 態 | 公開 |
| 議 題 | 1 民有地活用型認定制度について、2 その他 |

| | |
|------|--|
| 議事要旨 | |
| | <p>1 民有地活用型認定制度について (主な意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○審査基準は、時代に合った内容に見直していくことが求められる。 ○過去に認定された住宅が、見直された審査基準には適合しなくても、認定を取消すことはない。 ○認定後においても、住民の意見を取り入れながら運営されるべきである。 ○提案者には、地域にある基礎データを踏まえ、その地域をよく知ったうえで提案していただきたい。 ○よこはま多世代・地域交流型住宅認定制度要領の別表「多世代・地域交流施設の整備・運営」評価項目 1 視点③「交流施設の面積」の点数表記に「30 m²以上 50 m²未満 (0 点)」を追加する。 ○利用者ニーズに合わせた交流スペースの形状の工夫について、評価の視点を加えることとしたい。 ○審査基準に、コーディネーターの役割をより具体化する文言を加えたい。なお、コーディネーターのあり方については、今後も審議を継続する。 ○認定する建物は、安全・安心が確保されていなければならない。 ○交流施設の配置については建築関係法令を順守するとともに、評価の視点の一つとして定める「地域の方々が利用しやすい配置となっているか」に照らし、より開かれたスペースに設置してもらいたい。 <p>2 その他 (ココファン横浜鶴見、(仮) 緑区十日市場地域の進捗状況) (主な意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○モニタリングを継続していきたい。 |